



長崎がんばらば国体 2014

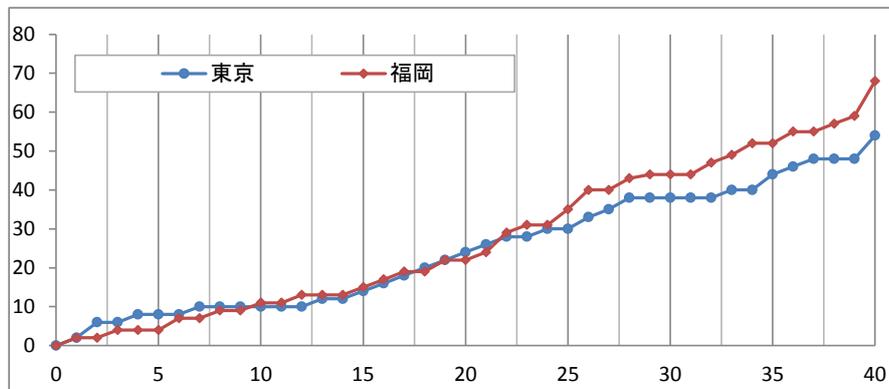
第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技
競技記録

成年男子決勝	東京 54	<table border="0"> <tr><td>10</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>14</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>14</td><td>—</td><td>22</td></tr> <tr><td>16</td><td>—</td><td>24</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	10	—	11	14	—	11	14	—	22	16	—	24	—			68 福岡
10	—	11																
14	—	11																
14	—	22																
16	—	24																
—																		
主審 山崎 仁士 (大阪)	●		○															
第1副審 渡邊 亮 (福島)																		
第2副審 宇地原 尚彦 (沖縄)																		

No. 21G-1 日時: 2014年10月21日(火) 10:00 会場: 三菱重工総合体育館



東京

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 山田 純也	4	0	2	0	1	2	0
5	福田 侑介	3	1	0	0	1	1	2
6	* 鈴木 伸之 (C)	0	0	0	0	2	0	2
7	岩下 達郎	2	0	1	0	1	11	0
8	福田 大佑	14	0	7	0	3	5	2
9	* 小林 純也	10	0	4	2	4	1	1
10	* 小松 昌弘	7	1	1	2	2	3	1
11	森川 純平	4	0	2	0	0	2	1
12	立花 大介	0	0	0	0	1	1	1
13	高田 歳也	0	0	0	0	0	1	0
14	* 吉留 将平	10	0	5	0	2	5	0
15	加藤 耕太郎	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	奥山 興祐							
合計		54	2	22	4	17	32	10

福岡

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	古野 拓巳	8	1	1	3	2	3	3
5	* 田中 喜陽	14	0	6	2	0	5	0
6	* 織田 秀司	4	0	2	0	0	4	3
7	* 吉満 俊孝 (C)	0	0	0	0	3	0	0
8	中深迫 諒太	2	0	0	2	1	1	0
9	赤星 雄平	9	1	3	0	3	3	1
10	* 松谷 直人	0	0	0	0	3	1	0
11	三友 康平	15	3	2	2	0	2	1
12	柚木 毅	-	-	-	-	-	-	-
13	村瀬 敦希	3	1	0	0	3	3	0
14	* 毛利 孝志	13	3	1	2	0	9	3
15	熊谷 駿	-	-	-	-	-	-	-
コーチ	山口 健太郎							
合計		68	9	15	11	15	31	11

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

決勝戦。初戦は苦しんだものの着実に調子を上げてきた前回王者東京と、準決勝で最後の最後まで苦しみながら堅い守りと#11を中心としたゲームメイクで勝ち進んできた福岡の対戦。第1Qは両者マンツーマンディフェンスでスタート。東京は#7、#10のインサイドからの攻撃を中心にゲームを組み立てる。一方福岡は、#14の内外からの攻撃や、粘り強いディフェンスと速攻で対抗する。両者一歩も引かず、第1Qを10対11で終える。第2Q、東京はミドルシュートを中心に、福岡は速攻を中心に攻撃をしかける。両チーム主導権を奪い合う戦いが続くが、東京#4の2連続ゴールなどで東京が24対22と2点のリードを奪って第2Q終了。

第3Qは残り5分からゲームが動く。福岡#4の1対1からのアシスト、#11のスリーポイント、#5の1対1からの得点により、東京を逆転する。東京はタイムアウトをとり、流れを引き寄せようとするが、またも福岡の粘り強いインサイド攻撃と#14のスリーポイントにより、点差を広げられる。東京はメンバーを交代し、#5のスリーポイントなどで一端流れを止めたかに思えたが、福岡も粘り強いディフェンスとリバウンドにより、38対44と福岡リードで第3Qを終了。両者円陣を組み迎えた第4Q、一進一退の攻防が続く。残り6分を切ったところで、福岡#4のスリーポイントが決まり、福岡が12点と大きくリードする。東京はタイムアウトをとり、#8、#14の得点で踏みとどまるが、またしても福岡#14のスリーポイントで点差を縮めることができない。残り1分30秒、福岡が#5のハイポストからの#14へのアシストにより11点差をつけ、東京が3回目のタイムアウトをとる。東京もファウルゲームに持ち込むが、福岡は#11のスリーポイントでさらに東京を突き離す。東京も最後の最後まで#8が攻め込むも一歩及ばず、68対54で福岡の勝利。

今大会を通じて、堅守速攻と落ち着いたゲーム運びを展開し、それを貫いた福岡県の優勝で幕を閉じた。

記載者 高田 裕己 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

少年男子準決勝

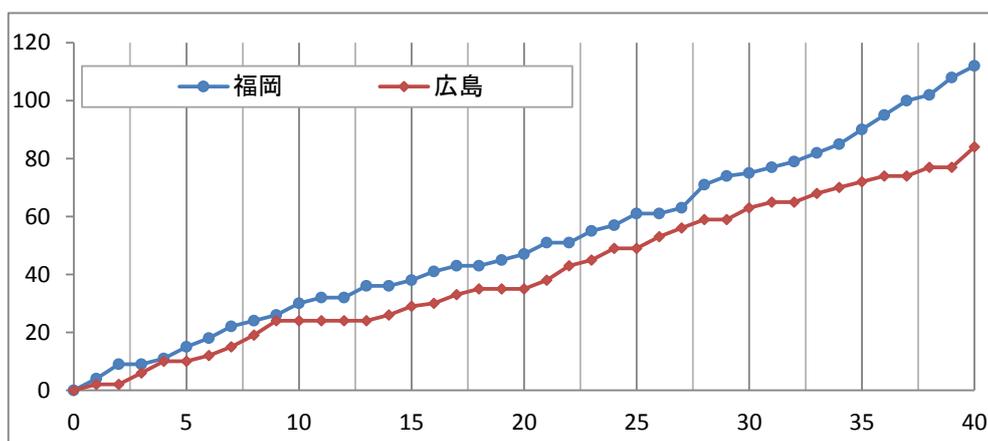
福岡 112 ○ 84 ● 広島

主審 小澤 勤 (山梨)

第1副審 有澤 重行 (山口)

第2副審 松本 究 (佐賀)

No. 21M-1 日時: 2014年10月21日(火) 10:00 会場: 長崎県立総合体育館



福岡

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 濱田 健太 (C)	6	0	3	0	1	3	1
5	秋山 皓太	4	0	2	0	2	2	2
6	* 井手 優希	6	0	3	0	4	0	1
7	鳥羽 陽介	13	1	4	2	3	5	4
8	武藤 海斗	6	2	0	0	0	0	2
9	* 津山 尚大	17	3	3	2	2	2	3
10	牧 隼利	17	2	5	1	2	6	0
11	* 増田 啓介	25	0	11	3	2	12	4
12	河野 佑太	2	0	1	0	3	3	0
13	張 効広	7	0	3	1	2	3	0
14	* 野口 夏来	9	0	3	3	1	6	2
コーチ	井手口 孝					0		
合計		112	8	38	12	22	42	19

広島

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 佐々井 雄大 (C)	17	0	6	5	2	3	2
5	* 山崎 翔梧	23	4	4	3	1	0	0
6	* 小栗 尚幸	6	0	3	0	3	4	5
7	豊田 湧一朗	0	0	0	0	0	0	1
8	* 吉崎 綾汰	14	1	3	5	3	7	0
9	茂刈 皇希	5	1	1	0	1	1	0
10	檜作 昌慶	2	0	0	2	0	1	0
11	松浦 慎哉	2	0	1	0	1	1	0
12	* 伊森 響一郎	13	1	3	4	2	3	2
13	江尻 駿也	0	0	0	0	0	0	0
14	河野 拓海	2	0	1	0	1	0	0
コーチ	藤井 貴康					0		
合計		84	7	22	19	14	20	10

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

準決勝、福岡県対広島県。1Q、両チームマンツーマンでスタート。福岡県は、#14リング下のシュートや#11のドライブインで得点を重ねる。一方、広島県は#4のジャンプシュートや#8のドライブインで得点し、30-24で福岡県リード。2Q、福岡県はディフェンスを厳しくし、徐々にリバウンドを支配する。残り8分、福岡県#13のリング下の得点で34-24となったところで広島県タイムアウト。その後、広島県#5、#8で得点するが点差は縮まらず47-35福岡県リードで前半を終了。3Q、福岡県は、インサイドとアウトサイドを効果的に使い、#11の得点や#9の連続3Pで得点を重ねる。一方広島県も、#4のスチールからのレイアップシュート、#5の果敢なドライブインや3Pで応戦するが、75-63で福岡県のリードは変わらない。4Q、一進一退の攻防が続くが、残り5分、福岡県#7の3Pが決まったところで広島県がタイムアウト。その後、オールコートマンツーマンで仕掛けるが、連戦の疲れからか、思うようにシュートが決まらない。その間、福岡県は#10、#8の3Pで得点を重ね、112-84で福岡県が決勝進出を果たした。高さに勝る福岡県に対し、最後まで果敢に挑んだ広島県の戦いぶりは、見る者に感動を与えた。

記者 松瀬 正人 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

少年男子準決勝

京都 90 ● 95 茨城 ○

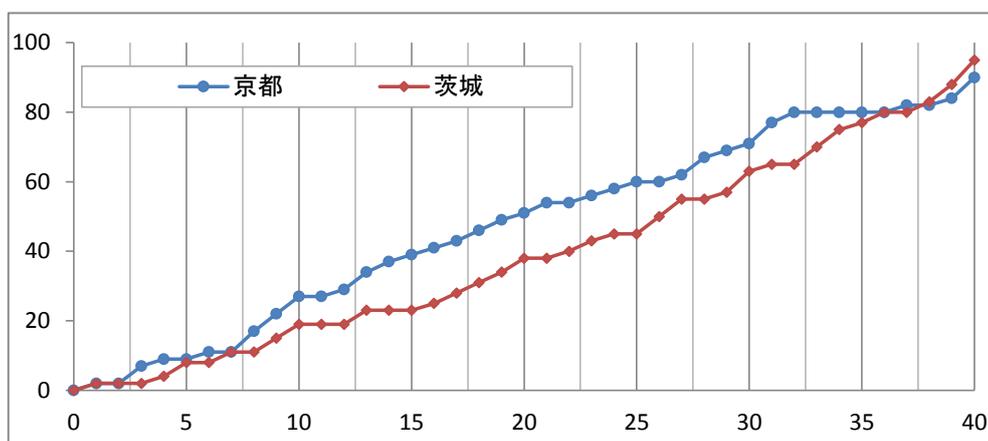
主審 吉橋 雅一 (愛知)

第1副審 黒岡 和哲 (大阪)

第2副審 加藤 昌樹 (愛知)

27	—	19
24	—	19
20	—	25
19	—	32
—	—	—

No. 21M-2 日時: 2014年10月21日(火) 11:55 会場: 長崎県立総合体育館



京都

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 村井 大陸 (C)	6	0	1	4	3	2	3
5	* 菅 祐史	5	1	1	0	1	3	0
6	富田 頼	20	0	9	2	1	8	2
7	澤田 絢以	2	0	1	0	0	2	0
8	* 岡田 卓也	2	0	1	0	1	3	0
9	高田 颯斗	10	2	2	0	1	1	9
10	* 山口 直紀	6	0	3	0	1	3	1
11	寺嶋 良	21	5	3	0	0	6	2
12	荒川 颯	0	0	0	0	1	2	0
13	* 田邊 陸也	18	0	7	4	1	9	3
14	鈴木 悠介	0	0	0	0	2	2	0
コーチ	吉田 裕司					0		
合計		90	8	28	10	12	41	20

茨城

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 本村 亮輔 (C)	27	3	7	4	3	3	3
5	* 青木 裕哉	8	2	1	0	2	0	2
6	軍司 泰人	0	0	0	0	0	2	2
7	野口 勇樹	2	0	1	0	3	0	2
8	松脇 圭志	17	3	4	0	4	2	1
9	* 山崎 純	28	6	5	0	3	2	6
10	杉本 天昇	0	0	0	0	0	2	0
11	黒田 将弘	—	—	—	—	—	—	—
12	菅原 暉	—	—	—	—	—	—	—
13	* 松本 紘希	5	0	2	1	0	7	0
14	* 平岩 玄	8	0	3	2	3	9	0
コーチ	佐藤 豊文					0		
合計		95	14	23	7	18	27	16

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

準決勝、京都府対茨城県。両チームマンツーマンでスタート。両チーム、アウトサイド、ドライブインで入れ合い、残り3分11-11の同点。2分を切って京都#6のゴール下や#11の連続3Pシュート、茨城は#8の連続ゴール下で加点し、27-19の京都8点リードで1Q終了。2Qに入り、京都は#9のアウトサイド、3Pシュートで得点する。茨城はタイムアウトを取り、フルコートゾーンプレスからゾーンディフェンスを用い流れを変えようと頑張りをみせるが、京都に加点され点差は縮まらず、京都51-38の13点リードで前半終了。3Q前半は一進一退の攻防が続いたが、残り4分茨城#9のスチールからのレイアップを皮切りに、#4のドライブインや3Pシュートで、残り3分60-55の5点差に追い上げる。さらに、フルコートゾーンプレスを仕掛けて逆転を狙うが、京都はタイムアウトを取り立て直しをほかり、71-63京都8点リードで終了。4Qに入り、京都は出だし#11、#9が連続3Pを決める。対する茨城はフルコートゾーンプレスで反撃を試み、#5、#9の3P、#4のターンシュートで残り5分80-77の3点差に迫る。残り3分、茨城#8の3Pシュートが決まり、ついに80-80の同点。残り1分半、茨城#4の2Pや#9の3Pシュート、京都は#13や#6のゴール下シュートを入れ合い、90-90の同点。残り30秒を切って茨城#8の3P、#7のスチールからのレイアップを決め、95-90で茨城が勝利した。京都の冷静なプレイと茨城のアグレッシブなプレイが対照的な、見所ある好試合だった。

記事者 上野 陽一 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

少年女子決勝

愛知 73 ○ 57 ● 千葉

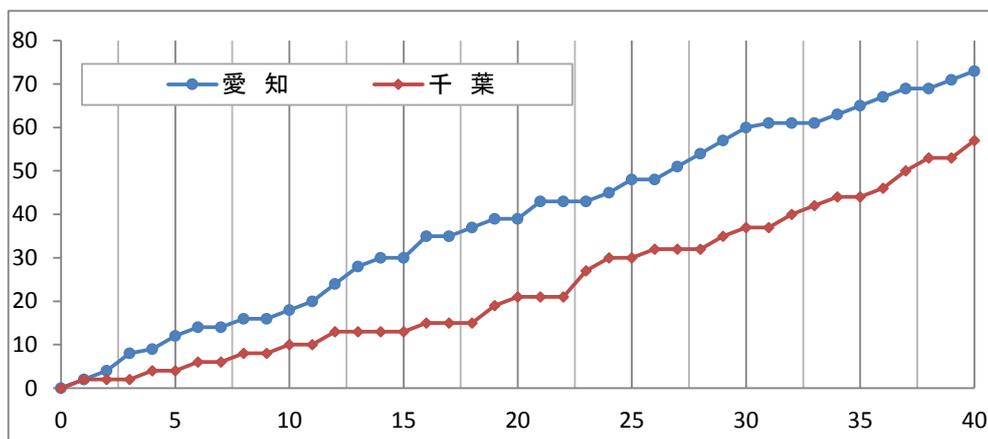
主 審 高橋 尚裕 (高知)

第1副審 緒方 崇 (東京)

第2副審 中江 洋美 (石川)

18	—	10
21	—	11
21	—	16
13	—	20
—	—	—

No. 21M1 日時: 2014年10月21日(火) 10:00 会場: 大村市体育文化センター



愛知

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 高辻 真子 (C)	20	4	4	0	0	3	6
5	* 若原 愛美	12	2	3	0	2	4	3
6	* 上田 祐季	12	0	6	0	2	1	1
7	* 加藤 優希	15	0	7	1	1	3	3
8	脇 梨奈乃	0	0	0	0	1	1	0
9	遠藤 桐	3	1	0	0	0	0	0
10	米長 華菜	—	—	—	—	—	—	—
11	* 馬瓜 ステファニー	11	0	5	1	3	2	0
12	アイメレク モニーク	—	—	—	—	—	—	—
13	渡辺 実鈴	—	—	—	—	—	—	—
14	粟津 雪乃	—	—	—	—	—	—	—
15	矢田 真悠	—	—	—	—	—	—	—
コーチ	井上 真一	—	—	—	—	0	—	—
合計		73	7	25	2	9	14	13

千葉

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
5	* 赤穂 さくら	12	0	4	4	2	9	2
4	* 渡部 友里奈 (C)	7	1	2	0	0	2	0
9	* 山本 由真	11	1	4	0	2	6	1
13	* 中村 美羽	6	0	3	0	3	3	0
6	稲垣 世羅	—	—	—	—	—	—	—
7	神崎 めぐみ	—	—	—	—	—	—	—
10	小野尾 梨紗	0	0	0	0	0	2	1
11	* 山本 加奈子	5	1	1	0	4	3	2
8	森 幾美	—	—	—	—	—	—	—
12	荻野 あかり	5	1	1	0	0	1	0
14	赤穂 ひまわり	11	1	4	0	1	6	2
15	城内 はるか	—	—	—	—	—	—	—
コーチ	鈴木 親光	—	—	—	—	0	—	—
合計		57	5	19	4	12	32	8

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

決勝戦、どちらも負けられない一戦。両チームともマンツーマンでスタート。愛知は#4の2Pシュートを皮切りに、#6が連続2Pで続く。千葉はインサイドにボールを集めるが、厳しいディフェンスに波に乗れない時間帯が続く。双方ともゴール下のルーズボール争いに果敢に飛び込むプレイに会場が沸く。18-10愛知リードで1Q終了。2Q、愛知#11のフックシュートから#6、#7のドライブインが連続で決まる。千葉は#11の3Pで応戦するが、その後、愛知の厳しいディフェンスの前に3分間ノーゴールが続く。39-21愛知リードで折り返す。3Q、千葉は開始から2分間ノーゴールが続くが、#5のドライブからパスが小気味よく回り出し#12、#4の3Pで追いつがる。しかし、愛知は#4の3Pブザービーターなどで追撃を許さず、60-37で愛知リードは続く。4Q、両チームとも開始から厳しいディフェンスの中、得点の取り合いとなる。千葉は終盤、プレスディフェンスに変え追い上げを図るが、愛知は落ち着いた試合運びで73-57で勝利した。最後まで勝利を信じプレイした、千葉の健闘を称えたい。

記者 桑原 盛雄 (所属) 長崎県バスケットボール協会